

ポルト市・ヴォスロール村姉妹都市提携 40 周年 及びライデン市姉妹都市提携記念訪問報告書（概要）

長崎市議会議員 奥 村 修 計

長崎市議会議員 中 村 照 夫

長崎市議会議員 深 堀 義 昭

長崎市議会議員 野 口 達 也

1 訪問の目的

1978年のポルトガル・ポルト市、フランス・ヴォスロール村との姉妹都市提携から40周年を迎える記念の年であることから、両市を訪問するとともに、この機会に2017年（平成29年）11月に姉妹都市提携を行ったオランダ・ライデン市を訪問し、各都市との今後のさらなる関係強化と交流促進を図ろうとするもの。

2 訪問期間 平成30年9月24日（月） ～ 10月3日（水）（10日間）

3 訪問都市 オランダ・ライデン市
フランス・ヴォスロール村
ポルトガル・ポルト市

4 日程

月日	時 間	発・着	行 程
9/24 (月)	10:55	長崎空港 発	東京へ（全日空 ANA664 便）
	12:40	羽田空港 着	
	14:05 (日本時刻)	羽田空港 発	ドイツ・フランクフルト・アム・マイン市（フランクフルト空港）へ（ルフトハンザドイツ航空 LH717 便）
	1:45 (日本時刻)	フランクフルト空港 着	（飛行時間 11 時間 40 分、日本との時差-7 時間） 入国手続き後、乗り換え
	21:00 (以降現地時刻)	フランクフルト空港 発	オランダ・アムステルダム市（スキポール空港）へ （ルフトハンザドイツ航空 LH1002 便）
	22:15	スキポール空港 着	入国手続き後、オランダ・ライデン市へ
	23:45	ライデン市 着	
9/25 (火)	11:15～ 13:00		シーボルトハウス、ライデン大学植物園視察

9/25 (火)	13:10～ 13:45		ライデン市長表敬
	14:00～ 15:45		ライデン市長主催昼食会（小型ボート）
	16:00～ 17:00		国立民族学博物館視察
	17:10～ 17:45		「よさこい雷電」によるよさこいの披露
	18:00～ 20:30		ライデン市副市長主催夕食会（田上市長、五輪議長、中村議員出席）
9/26 (水)	11:15	ライデン市発	オランダ・ハーグ市へ
	12:00	ハーグ市 着	
	12:10～ 12:45		在オランダ日本国大使表敬
	14:15～ 15:40		マウリッツハイス美術館視察
	15:30	ハーグ市 発	ベルギー・ブリュッセル市へ
	19:00	ブリュッセル市 着	
9/27 (木)	10:13	ブリュッセル市 発	フランス・パリ市へ
	11:35	パリ市 着	
	13:45～ 15:30		国立自然史博物館視察
	15:45～ 18:15		パリ市内視察（ノートルダム大聖堂、コンシェルジュリー、サント・シャペル、凱旋門・エッフェル塔（車窓から視察））
	18:15	パリ市 発	フランス・ラ・デファンス地区へ
	18:40	ラ・デファンス地区 着	
	19:40～ 22:00		在仏長崎県人会との夕食会
9/28 (金)	8:30	ラ・デファンス地区 発	フランス・ヴォスロール村へ
	12:05	ヴォスロール村 着	
	12:05～ 14:30		ヴォスロール村長表敬、姉妹都市提携40周年記念調印式、昼食会
	14:30～ 16:45		ヴォスロール村内視察（農家、聖オバン教会、ド・ロ神父家族の墓）
	18:00～ 19:30		「平和の道」遊歩道開通式、レセプション
	19:40		フランス・バイユー市へ

9/28 (金)	19:50	バイユー市 着	
	20:00～ 22:30		ヴォスロール村主催夕食会
9/29 (土)	7:30	バイユー市 発	フランス・パリ市 (オルリー空港) へ
	12:10	オルリー空港 着	
	14:40	オルリー空港 発	ポルトガル・リスボン市 (ウンベルト・デルガード空港) へ (ポルトガル航空 TPA439 便)
	16:10	ウンベルト・デルガード 空港 着	(飛行時間:2時間30分、フランスとの時差-1時間)
	18:30～ 21:45		在ポルトガル日本大使表敬
9/30 (日)	8:30～ 11:00		リスボン市内視察 (ベレンの塔、発見のモニュメント、ジェロニモス修道院)
	11:00	リスボン市 発	ポルトガル・ポルト市へ
	14:39	ポルト市 着	
10/1 (月)	10:15～ 12:00		ポルト市内視察 (ドン・ルイス1世橋、テイラー社ワインセラー)
	12:30～ 14:00		市民団との合同昼食会
	14:30～ 15:50		ポルト市内視察 (路面電車、レロイ・イルマオン書店)
	16:40～ 17:10		ポルト市長表敬
	17:30～ 18:30		ヒロシマ・ナガサキ原爆展開幕式、見学
	19:00～ 19:40		Pray for Peace 美術展開幕式、見学
	10/2 (火)	12:05	ポルト市 (フランシスコ・サ・ カルネロ空港) 発
15:45		フランクフルト空港 着	入国手続き後、乗り換え
18:30		フランクフルト空港 発	東京 (羽田空港) へ (ルフトハンザドイツ航空 LH716 便)
10/3 (水)	12:15 (以降日本時刻)	羽田空港 着	(飛行時間10時間45分、ドイツとの時差+7時間) 入国手続き
	16:25	羽田空港 発	長崎へ (ANA667)
	18:20	長崎空港 着	解散式
	18:40	長崎空港 発	
	19:30	議会事務局 着	

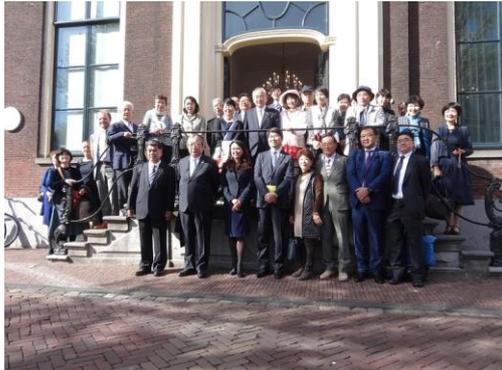
5 訪問概要等

【9月25日（火）】

（1）シーボルトハウス視察

シーボルトハウスのクリス・スヒールマイヤー館長の挨拶と田上市長の挨拶の後、現地職員の説明をいただきながらシーボルトハウス内の展示物を見学した。陶磁器、金属製品、食器、武器、楽器、屏風、地図、動植物の標本、宗教、考古学の資料など多数の作品が展示されていた。

同ハウスは、シーボルトが1832年から1837年まで居住した家で、シーボルトが日本から持ち帰った収集品を一般に公開し、世界初の「日本物産館」となっている。現在、シーボルトコレクションのうち、選りすぐりの約800点が展示され、年間約2万5千人が入館している。



（2）ライデン大学植物園視察

ライデン大学植物園の視察を行った。園内には、シーボルトが日本から持ち帰ったイチョウ、カエデ、フジなどが植えられ、シーボルトの銅像が置かれた日本庭園も造られていた。

同植物園は、オランダで最も歴史のある植物園で、1590年に造園された後、4世紀以上にわたって充実、拡張を行っている。



(3) ライデン市長表敬

ライデン市長を表敬訪問し、アンリ・レンフェリンク市長と田上市長がそれぞれ挨拶を行い、今後ますます交流を深めていくことを誓い合った。



(4) ライデン市長主催昼食会

ライデン市の主催により、小型ボート船上での昼食会が行われた。小型ボートはライデン市を流れる幅 10～20mの運河をゆっくりと運航し、市内の街並みを短時間で広い範囲にわたり見ることができ、午前中に視察したライデン大学植物園や市長表敬を行ったライデン市庁舎も船上から確認することができた。

また、運河の至る所に小規模な橋が架けられ、街にはレンガの建物や風車などの美しい景観が延々と続き、その街並みはハウステンボスとよく似ていた。

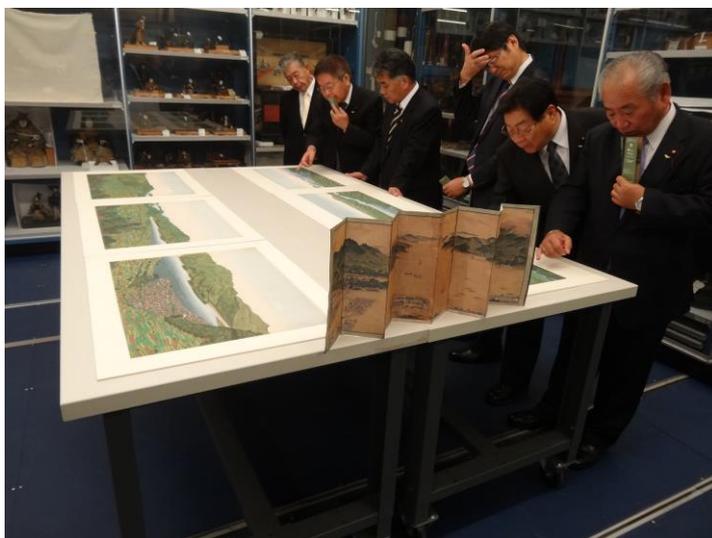


(5) 国立民族学博物館視察

国立民族学博物館のステイン・スフーンデルワールド館長の挨拶の後、同博物館の視察を行った。同博物館には、日本、韓国やオーストラリアの手工芸品、衣服、家具、

美術品、楽器、宗教にまつわるもの等が展示されていた。また、収蔵庫に保存されている川原慶賀の貴重な風景画の原画を見ることができた。

同博物館は、2万点を超すといわれるシーボルトコレクションを中心に1837年に開館しており、初代館長はシーボルトであった。現在、シーボルトコレクションのうち約5千点が保管されており、一部が展示公開されている。なかには、出島の模型など出島復元の貴重な資料となっているものもある。



(6) よさこい雷電との交流

「よさこい雷電」チームに所属し、日本学科を専攻しているライデン大学の7人の生徒から、4曲のよさこい踊りを披露していただいた。終了後、市民団から「もってこーい」の音頭が出て、もう一曲披露していただいた。



(7) ライデン市副市長主催夕食会（五輪議長及び中村議員が出席）

ライデン市のイヴォンヌ・ファン・デルフト副市長主催の夕食会が開かれ、五輪議長と中村議員、田上市長が出席した。

【9月26日（水）】

（1）在オランダ日本大使表敬

ハーグの日本大使館を訪問し、猪俣特命全権大使、田上市長及び五輪議長が挨拶を行った。

猪俣特命全権大使からは、日本とオランダとの関係のほか、オランダの経済力や政治情勢などについて詳しい説明をいただいた。



（2）マウリッツハイス美術館視察

マウリッツハイス美術館の視察を行った。同美術館は、オランダで最も美しい建物の一つと言われ、フェルメールやレンブラントなどオランダ絵画の黄金期をなす世界的に有名なコレクションをたくさん所蔵している。

代表的な作品には、フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」、「デルフトの眺望」、レンブラントの「テュルプ博士の解剖学講義」、ポッテルの「雄牛」などがある。



【9月27（木）】

（1）国立自然史博物館視察

フランス国立自然史博物館の視察を行った。1793年に創立した同博物館は、歩くと床が軋む音がする古い建物で、広大な敷地内に植物園、動物園と3つの展示館を持っている。

視察当日は、オランダ・ライデン市のナチュラリス生物多様性センターがヨーロッパ各地で行っている恐竜展「UN T. REX. A. P A R I S」が開催されており、同展では、ティラノサウルスの化石が展示されていた。同化石はほとんどが残存するものであり、左足部分など一部分が複製されたものであった。



(2) パリ市内視察

パリ市内にある世界遺産のノートルダム大聖堂、コンシェルジュリー、サント・シャペル及び凱旋門とエッフェル塔を視察した。(凱旋門とエッフェル塔は車窓から視察)

ノートルダム大聖堂は、初期ゴシック建築を代表する 1225 年に完成した建物で、ローマ・カトリック教会の大聖堂である。ノートルダムとは、「我らが貴婦人」という意味で、聖母マリアのことを指す。

コンシェルジュリーは、王の宮殿として建てられ、10 世紀から 14 世紀にかけて使用された後、1370 年から牢獄として使用され、1793 年にはマリー・アントワネットが投獄されている。

サント・シャペルは、「聖なる礼拝堂」という意味で、ルイ 9 世（聖ルイ）が 1239 年から収集し始めた茨の冠や十字架の木片などのキリストの聖遺物を納めるために建設を命じたゴシック建築の教会堂で、1248 年に完成している。



ノートルダム大聖堂



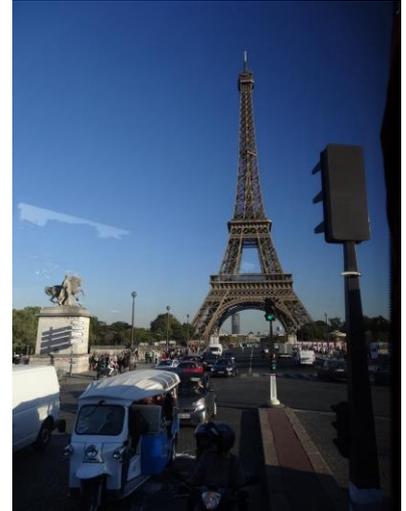
コンシェルジュリー



サント・シャペル



凱旋門



エッフェル塔

(3) 在仏長崎県人会との夕食会

在仏長崎県人会との夕食会に出席した。同会の宮永会長、田上市長、五輪議長がそれぞれ挨拶を行った後、今後の交流などについて意見を交換し、親睦を深めた。



【9月28日（金）】

(1) ヴォスロール村長表敬訪問、姉妹都市提携40周年調印式、昼食会

パリ近郊のラ・デファンス地区を朝から出発し、昼頃にヴォスロール村に到着して、ブノワ・デムラン村長をはじめ多くの村民の出迎えを受けた。その後、姉妹都市提携40周年を記念し、調印式が行われた。

調印式の後、同村主催の昼食会が行われ、同村の村民、長崎市の公式訪問団、市民団、経済団など多くの人々が交流が深めた。



(2) ヴォスロール村内視察

昼食会の後、ガイドの説明を受けながら、村内の農家、聖オバン教会、ド・ロ神父の家族の墓の視察を行った。

農家の視察では、りんご園やシードル（りんごから作ったスパークリングワイン）の工場などを見学した。農家の経営者の話によると、ヴォスロール村の人は水よりもシードルを飲む習慣があるとのこと。また、りんご園では、人力で1日800kg、機械を使用して30tを収穫できるとのこと。

聖オバン教会は、12世紀に建てられたロマネスク様式の教会で同村のシンボルとなっている。16世紀の宗教戦争で荒廃したが、1848年に復元している。また、同教会の敷地には、ド・ロ神父の父親の両親とその家族の墓があった。



聖オバン教会



ド・ロ神父の家族の墓

(3) 「平和の道」遊歩道開通式

ヴォスロール村から街に繋がる遊歩道である「平和の道」の開通式に出席した。

同開通式は、同村と長崎市の姉妹都市提携40周年の記念事業であり、同開通式では、デムラン村長、ヴォスロール村との市町村共同体であるバイユー市のパトリック・ゴモン市長、州議会のデュボン・ジャンレオンス議長からの挨拶、田上市長の挨拶があり、テープカットの後、自転車に乗った同村の村民達が一斉に街に向かって走っていた。

自転車の走行後、同村のペルティエ助役と五輪議長によりエリアマップの除幕式、デムラン村長と田上市長による標識の除幕式が行われた。



(4) ヴォスロール村主催夕食会

ヴォスロール村主催の夕食会に出席した。同夕食会では、デムラン村長と田上市長の挨拶の後、同村の村民や周辺自治体の関係者や住民の多くの方達と、長崎市の公式訪問団、市民団、経済団その他関係団体等の方達が意見を交わし、歌や演奏などにより、さらなる交流を深めることができた。



【9月29日（土）】

（1）在ポルトガル日本大使表敬

リスボンの日本大使館を訪問し、新美特命全権大使、田上市長及び五輪議長が挨拶を行った後、同大使館主催の夕食会が行われ、日本とポルトガル、長崎市とポルト市の関係や交流等について意見を交わした。



【9月30日（日）】

（1）リスボン市内視察

リスボン市内にある世界遺産のベレンの塔、発見のモニュメント及びジェロニモス修道院を視察した。

ベレンの塔は、16世紀にマヌエル1世によってヴァスコ・ダ・ガマの世界一周の偉業を記念して建造され、テージョ川の船の出入りを監視することを目的とする要塞となっている。

発見のモニュメントは、大航海時代を記念した記念碑で、52メートルの高さのコンクリート製で、キャラベル船の船首の曲線に似せて1940年ころに制作され、エンリケ航海王子没後500年の記念行事として1960年にコンクリートで再制作されている。像の先頭はエンリケ航海王子で、王子が川を見つめ、王子の後方に、その他の同時代の探検家、芸術家・科学者・地図制作者・宣教師らの像が並んでいる。

ジェロニモス修道院は、ヴァスコ・ダ・ガマによるインド航路開拓および、エンリケ航海王子の偉業を称え、1502年に大航海時代の富をつぎ込んでマヌエル1世によって着工され、1511年に回廊などの大部分が完成したものの、その後、マヌエル1世の死やスペインとポルトガルの同君連合による中断等もあり、最終的な完成には300年ほどかかっている。



ベレンの塔



発見のモニュメント



ジェロニモス修道院

【10月1日（月）】

（1）ポルト市内視察

ポルト市内にあるテイラー社のワインセラー、ドン・ルイス 1 世橋、レロイ・イルマオン書店を視察し、また、旧市街地で路面電車への体験乗車を行った。

テイラー社には、無数の木樽がきれいに並べられワインが熟成されていた。施設内には、多くの見学者のための案内パネルやビデオが設置されていた。

ドン・ルイス 1 世橋は、ドウロ川に架かる橋として、1881 年から 1886 年の間に建設された道路と鉄道の間用橋で、世界遺産「ポルト歴史地区」に含まれている。同橋は、幅 8 m、地上高 45m の二重構造で、上層の橋は歩行者と電車が通り、下層の橋は歩行者と自動車を通る構造となっている。

レロイ・イルマオン書店は、美しい書店として世界的に有名で観光客を含め多くの客で賑わっている。同書店は、1869 年に創業し、現在の建物は 1909 年に建築されている。店内は、2 m を大きく超える本棚に書物がぎっしりと並び、らせん状の階段で 1 階と 2 階を行き来する構造となっている。その階段は「天国への階段」と呼ばれ、同書店が美しい書店と呼ばれる一要因となっている。



テイラー社のワインセラー



ドン・ルイス1世橋



旧市街の路面電車



レロイ・イルマオン書店

(2) ポルト市長表敬

ポルト市長を表敬訪問し、ルイ・モレイラ市長と田上市長がそれぞれ挨拶を行い、今後ますます交流を深めていくことを誓い合った。



(3) ヒロシマ・ナガサキ原爆展開幕式

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館主催のヒロシマ・ナガサキ原爆展（ポルト長崎姉妹都市提携 40 周年記念展示会）の開幕式に出席した。同開幕式では、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館の松尾副館長の主催者挨拶のほか、モレイラ市長、駐ポルトガル大使の新美大使、田上市長の挨拶が行われ、その後、原爆被爆に関する資料の見学を行った。



(4) Pray for Peace 美術展開幕式

Pray for Peace 展実行委員会主催の Pray for Peace 美術展（長崎・ポルト姉妹都市提携 40 周年記念現代美術交流展）開幕式に出席した。同実行委員会の挨拶の後、展示作品を見学した。

同美術展では、長崎市とポルト市の姉妹都市提携 40 周年を記念し、両都市の児童画とアーティストの現代美術作品が展示されていた。

